

「子どもを守るネットワーク」事業 子どもネットニュース



VOL. 138

特別インタビュー

子どもを守るネットワークは公労使の活動 より一体となるような取り組みを

子どもを守るネットワーク対策委員会 落合宏文委員長
(私鉄総連 小田急バス労働組合 執行委員長)



子どもを守るネットワークの取り組みを、現場ではどのように推進しているのか、インタビューを行いました。初回は子どもを守るネットワーク対策委員長である小田急バス労働組合執行委員長の落合さんに現状や、今後の目標を伺いました。

■子どもを守るネットワークの取り組みの現状を教えてください。

小田急バスでは三多摩エリアを約400台のバスが運航しており、約9割のバスにステッカーを貼っています。活動としては、ステッカーの点検、新車がいいたら取り替えなど、自動車対策部（組合の支部）を通して行なっています。課題としては、すべての運転手の人がステッカーの意味を把握できてはいないので、会社とどのように現場へ周知を続けていくか検討を進めています。

■労使で運動を進めてくださっているとのことですが、会社側とはどのようなやりとりをしていますか？

小田急バスで子どもを守るネットワークに参画を始めたのは、活動がスタートした15年前で、ステッカーをバスへ貼ることの理解は得られていましたが、協賛金を含め労使が一体となった取り組みが叶ったのは3年前になります。しかし会社側すべての方が理解できているかというと少し認識が薄くなってきている印象です。労働組合として、子どもを守る活動をより周知徹底していくことが必要だと思っています。

■子どもを守るネットワークへの参画当時はどのような苦労がありましたか？

参画当時、組合活動に参加したばかりの頃だったのですが、夜な夜なステッカーの番号とナンバーの照合、何百枚というステッカーを貼る作業を行い、とても大変な作業だったと記憶に残っています！

■今後、「子どもを守るネットワーク」の運動をどのように展開していきたいですか？一言お願い致します！

周知徹底、犯罪・事故を少しでも防ぐことが重要だと思います。子どもを守るネットワークはせっかく公労使の体制で進めている運動なので、より一体となるような取り組みをしていきたいですね。今、公労使が集まる場面は総会だけなので、別の場でもいいので意見交換を行いながら、どう運動を活性化し地域へ貢献していくか考えていきたいですね！

落合委員長、ご協力をありがとうございました！

「子どもを守るネットワーク」事務局

〒190-0012 立川市曙町2-15-20-5F 連合三多摩ブロック地協内

TEL 042-529-5550

FAX 042-529-5552